

2019年3月期中間 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

株式会社フェイスネットワーク

Q1. 2019年3月期第2四半期のたな卸資産は販売用不動産が12億円程度、仕掛が87億円程度ありますが、棟数ベースでは何棟なのか、9月末時点にて契約済の棟数を宜しければ教えてください。

A1. 2019年3月期第2四半期たな卸資産のうち販売用不動産の棟数は、不動産商品が4棟です。その内訳は、Granduo 2棟、GranStory 2棟となっており、4棟中3棟が契約済です。下期の完成予定物件は契約及び契約予定含めて7割程度でございます。

Q2. 金融機関の融資姿勢や顧客の需要動向を含めた販売動向について教えてください。

A2. 前年度から既に金融機関の融資状況は変わってきておりますが、最近では金融機関が不動産業者の選別を行うようになっております。また、不動産業者からの物件の持ち込みは受けず、お客様からの物件持ち込みのみを受けるといった金融機関もあります。

当社の物件に関しては、物件の良さを理解して頂き、引き続き変わらない取引を頂けるという言葉が金融機関より頂いております。業界全体としての影響はあるかもしれませんが、当社への影響は少ないと考えております。

顧客動向につきましては、お客様は今までより慎重に検討を行う様になってきていると考えております。

Q3. 現在の城南3区の1棟利回りとグランファンディングの利回りを教えてください。

A3. 城南3区の1棟利回りは変わらず4.5%以上となっております。グランファンディングの第1弾利回りは4.97%です。

Q4. 上期の進捗状況について、偏りがあるのか、顧客が慎重になって成約までの期間が伸びているのか教えてください。

A4. 物件の完成に関しては下期に多くなる傾向があります。

Q5. 設計・施工の人員を増やしているという事ですが、今年度 17 名増加の方の職種を教えてください。

A5. 設計・施工の人員が半分以上です。その他に不動産特定事業法関連の人材も補充しています。

以上